

平成十八年度 秋季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「秋」

期間 平成十八年八月一日～十月末

投句数 二、〇九九句

特選三句

天

月上げて一ノ鳥居や揚花火

神奈川県鎌倉市 萩野英利

地

つぎの世へ蓮の実飛んでしまひけり

神奈川県座間市 佐藤光夫

人

木犀の小枝挿したる佛の間

神奈川県横浜市 葭谷健一

入選句

一般の部

乱れ萩くぐりて拜む札所かな

神奈川県逗子市

奥津伸司

江ノ島は海の上なり秋ともし

神奈川県横浜市

鈴木基之

さるすべり炎ともえて本覚寺

神奈川県鎌倉市

森庸子

目鼻なき五輪に一花曼珠沙華

神奈川県横浜市

岩井スイ子

天高く二人の門出八幡宮

埼玉県さいたま市

高橋尊輝

鎌倉に雪洞灯る夜の秋

神奈川県横浜市

雑賀義久

重陽や心願厚く観音寺

神奈川県茅ヶ崎市

北郷聖

虫の声大仏様と共に聴く

茨城県ひたちなか市

堀江奈津子

鎌倉の波音高き花火かな

神奈川県横浜市

山下省三

仮屋根のままに舞殿初嵐

神奈川県茅ヶ崎市

美濃島トシ子

朝明けの小動岬のしらす舟

三重県津市

真野まさみ

ひぐらしや比企一族の墓所

神奈川県鎌倉市

小林貞夫

鎌倉の塩の道とや野菊濃し

神奈川県茅ヶ崎市

川口愛子

鎌倉と東京つなぐ鰯雲

東京都世田谷区

中村芳子

大仏を越えぬ高さに赤とんぼ

神奈川県横浜市

柳沢栄蔵

御目閉ぢ大仏秋声聴き給ふ

埼玉県狭山市

古谷彰宏

コスモスやお寺めぐりはまだ半ば漕

東京都新宿区

中川富子

秋風に誘われ来たる由比ヶ浜

神奈川県相模原市

高野里美

鐘楼の屋根は薫ぶき小鳥来る

神奈川県横浜市

菅原文子

しんがりの一人を待っている花野

東京都品川区

伴場とく子

(順不同)

入選句

子どもの部

秋晴れの空の下行く建長寺

東京都足立区

斉藤香織

大仏の頭の上で小鳥鳴く

東京都足立区

大久保亮介

みずが澄むかまぐらのまちきれいだな

埼玉県越谷市

鈴木美咲

あきばれにだいぶつのかおにあつてる

埼玉県越谷市

矢澤愛理

すすき揺れ永福寺跡月のぼる

神奈川県鎌倉市

藤原絵理子

リンドウが咲いて喜ぶ鎌倉市

神奈川県鎌倉市

児玉純也

あかとんぼゆうゆうとぶよ源氏山

神奈川県横浜市

中島彩希

かまくらでいっぱい見たよあかとんぼ

神奈川県横浜市

松本久佳

ふと見れば水面にうかぶ紅葉かな

栃木県宇都宮市

新井希

昼なのにすすむしないてるほうこく寺

神奈川県横浜市

北谷昌大

(順不同)